

CII 標準ベース XML/EDI
マッピング規則バージョン 1 . 1
第 2 部 簡易形メッセージ

平成 1 3 年 3 月 2 9 日

(財) 日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター

目次

まえがき

1. 適用範囲
2. 引用規格
3. 使用文字コード
4. 構成要素の定義
5. 論理レコード
6. データ要素の種類と属性・長さの表記法
7. データ要素の詳細
8. メッセージグループヘッダの構造
9. メッセージの構造
10. バイナリデータの扱い
11. 特殊データの構造
12. メッセージグループの構造
13. 交換単位の構造

附属書 1 (参考) XML 電文の例 (その 1)

附属書 2 (参考) XML 電文の例 (その 2)

まえがき

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則は、次の二つの部からなる。

第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージ

第 2 部 簡易形メッセージ

第 1 部は CII シンタックスルールとの完全な互換性を保ち、相互変換可能な XML 電文を生成するためのマッピング規則である。

第 2 部は、メッセージグループの構造を省き、1 交換単位が一つのメッセージだけを含む、簡易な構造の XML 電文を生成するためのマッピング規則である。

1. 適用範囲

この規則は、CII シンタックスルールに基づいて開発された、EDI 標準メッセージを、インターネット EDI (Web, E-mail 等) でも活用するため、XML (Extensible Markup Language) にマッピングする場合にのみ適用する。

ただし、CII シンタックスルールにしたがって構成されたメッセージとの相互変換を行う場合には使用してはならない。

なお、CII 標準ベース XML/EDI の交換単位は整形式 (Well-formed) の XML 文書とする。

2. 引用規格

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに準じる。

3. 文字集合及び文字コード

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに準じる。

4. 構成要素の定義

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

5. 論理レコード

5.1 論理レコードの種類及び XML/EDI へのマッピング

JIS X 7012-1, -2, -3 (CII シンタックスルール 3.00) で規定されている論理レコードの種類と、XML/EDI でのマッピングは次の通りである。

表1 論理レコードの種類及び XML/EDI へのマッピング

論理レコードの種類	略記号	XML/EDI へのマッピングの有無
同報ヘッダ	BCH	無
メッセージグループ・ヘッダ	MGH	無
業務メッセージ	TRM	有
受信確認メッセージ	AKM	有
エラー情報メッセージ	ERM	有
セキュリティ・ヘッダ・メッセージ	SHM	無
サブ・セキュリティ・ヘッダ・メッセージ	SSH	無
セキュリティ・トレーラ・メッセージ	STM	無
バイナリー・データ・ヘッダ	BDH	無
バイナリー・ユニット	BU	無
バイナリー・データ・トレーラ	BDT	無
メッセージグループ・トレーラ	MGT	無

5.2 電文の階層構造

CII 標準ベース XML/EDI 電文の階層構造を次に示す。

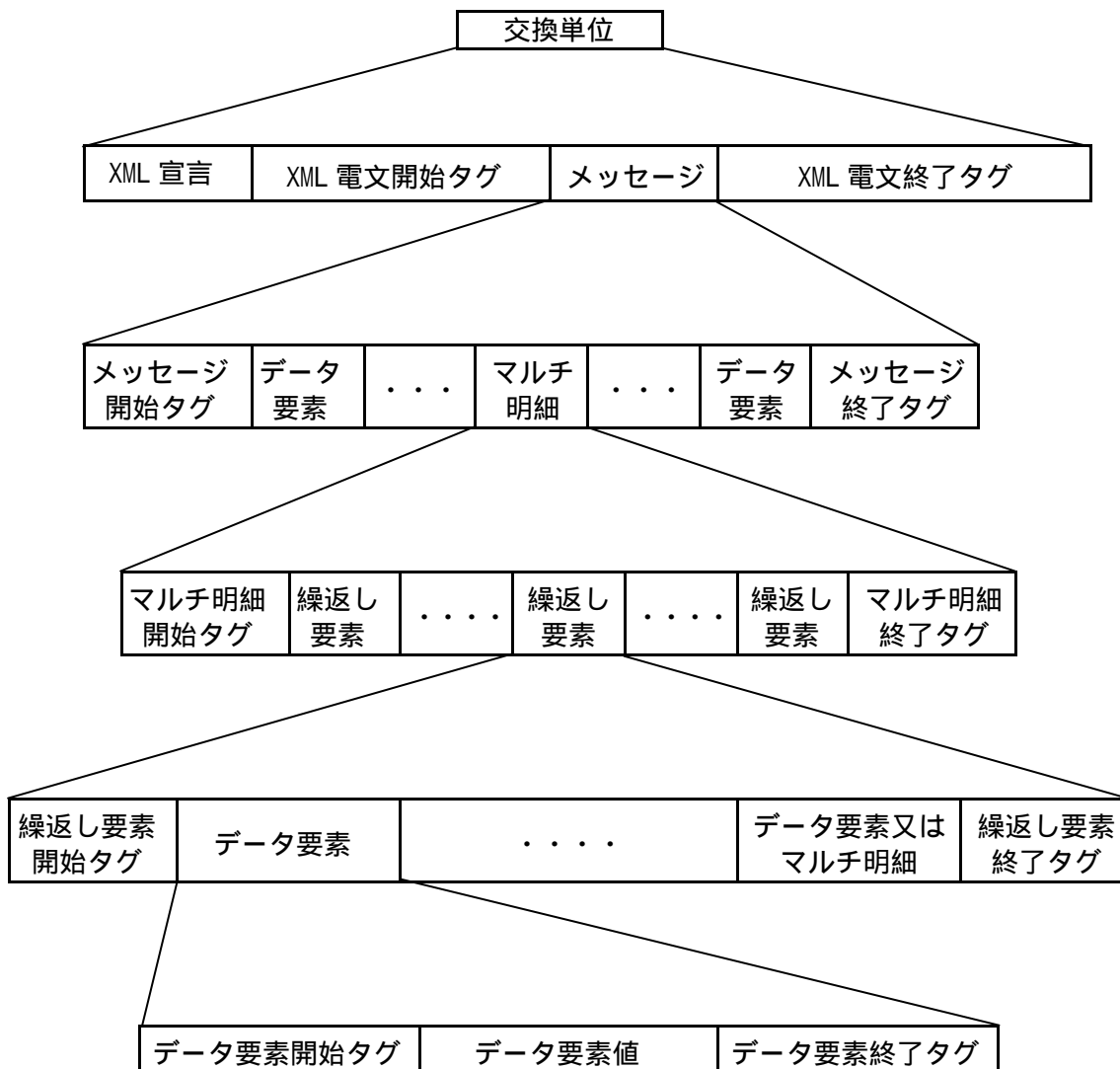


図1 CII 標準ベース XML/EDI の階層構造

5.3 電文の構成要素及びその XML タグ

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

6. データ要素の種類と属性

6.1 固定長データエレメント

固定長データエレメントは使用しない。

6.2 可変長データ要素

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

7. データ要素の詳細

7.1 データ要素の構造

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

7.2 データ要素のタグ

7.2.1 可変長データ要素のタグ

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

7.2.1 固定長データ要素のタグ

簡易形型メッセージにおいては、固定長データ要素は使用しない。

8. メッセージグループヘッダの構造

簡易形型メッセージにおいては、メッセージグループヘッダは使用しない。

9. メッセージの構造

9.1 メッセージ

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

9.1.1 通常のメッセージグループ内のメッセージ

簡易形型メッセージにおいては、メッセージグループを使用しない。1 交換単位は 1 メッ

セージで構成される。

9.1.2 短縮形メッセージグループ内のメッセージ

簡易形メッセージにおいては、メッセージグループを使用しない。1 交換単位は 1 メッセージで構成される。

9.2 マルチ明細

9.2.1 マルチ明細の構造

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

9.2.2 繰返し要素の構造

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

9.2.3 繰返し要素の省略

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

9.2.4 明細番号

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

9.3 メッセージ内のデータ要素の出現順序

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

10. バイナリデータの扱い

CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン 1.1 第 1 部 CII シンタックスルール互換メッセージに従う。

11. 特殊データの構造

11.1 受信確認メッセージ

受信確認メッセージは、受信者が解釈可能な業務処理メッセージを受信できたか否かを送信者に通知するメッセージである。

受信確認メッセージは、受信確認メッセージ開始タグ<JPAKM SEQ=" × "> (× はシーケンス番号、1に固定)で始まり、下記に示すデータ要素を含み、受信確認メッセージ終了タグ</JPAKM>で終わる。

表2 受信確認メッセージのデータ要素

タグ	データ要素名	内 容
JPE55	エラーフラグ1	-
JPE56	エラーフラグ2 *1	-
JPE57	エラーフラグ3 *1	-
JPE58	エラーフラグ4 *1	-
JPE59	エラーフラグ5 *1	-
JPE60	作成日付時刻	-

*1 任意使用。

エラーコードは、CII 標準ベース XML/EDI マッピング規則バージョン1.1 第1部 CII シンタクスルール互換メッセージに従う。

11.2 エラー情報メッセージ

エラー情報メッセージは、EDI サービス事業者が、交換処理等に際し、エラーが発生したことを、送信者に伝えるメッセージである。

エラー情報メッセージは、エラー情報メッセージ開始タグ<JPERM SEQ=" × "> (× はシーケンス番号、1に固定)で始まり、下記に示すデータ要素を含み、エラー情報メッセージ終了タグ</JPERM>で終わる。

表3 エラー情報メッセージのデータ要素

タグ	データ要素名	内 容
JPE75	エラーフラグ1	-
JPE76	エラーフラグ2 *1	-
JPE77	エラーフラグ3 *1	-
JPE78	エラーフラグ4 *1	-
JPE79	エラーフラグ5 *1	-
JPE80	作成日付時刻	-

*1 任意使用。

11.3 同報ヘッダ

同報ヘッダは、CII 標準ベース XML/EDI にはマッピングしない。

1 2 . メッセージグループの構造

簡易形メッセージにおいては、メッセージグループを使用しない。

1 3 . 交換単位の構造

CII 標準ベース XML/EDI の交換単位は、XML 宣言で始まり、その後ろに XML 電文開始タグ (ルートタグ)、1つ以上のメッセージ及び XML 電文終了タグからなる。ルートタグは、CII-MSG とし、アトリビュートとして BPID 機関コード BPID="XXXX" (4桁)、BPID 副機関コード BPIDSUB="XX" (2桁)、BPID 版 BPIDVER="XX" (2桁)、情報区分コード MSGID、マッピング規則バージョン MAPVER、交換単位の作成日付時刻 DATETIME を記述する。すべてのアトリビュートは必須である。なお、交換単位の作成日付時刻は YYYYMMDDThhmmss の形式とする。

例 <CII-MSG BPID="HWSW" BPIDSUB="00" BPIDVER="1A" MSGID="0110" MAPVER="1.1-2A" DATETIME="20010307T202530">

受信確認メッセージのルートタグは、CII-AKM に受信確認の対象となる交換単位のすべてのアトリビュートをコピーしてつけたものとする

例 <CII-AKM BPID="HWSW" BPIDSUB="00" BPIDVER="1A" MSGID="0110" MAPVER="1.1-2A" DATETIME="20010307T202530">

エラー情報メッセージのルートタグは、CII-ERM にエラー情報の対象となる交換単位のすべてのアトリビュートをコピーしてつけたものとする

例 <CII-ERM BPID="HWSW" BPIDSUB="00" BPIDVER="1A" MSGID="0110" MAPVER="1.1-2A" DATETIME="20010307T202530">

なお、このマッピング規則のバージョンは、1.1-2A 又は 1.1-2B である。可変長データ要素のタグとして JP00001 のようなタグ番号を使用する場合は 1.1-2A、メッセージ仕様に定められたデータ要素名称を使用する場合は 1.1-2B である。

XML 宣言	XML 電文開始タグ	メッセージ	XML 電文終了タグ
--------	------------	-------	------------

図 1 2 交換単位の構造

附属書 1 (参考) XML 電文の例 (その 1)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<?xml-stylesheet href="HWSWXML4.xsl" type="text/xsl" ?>
<CII-MSG BPID= " HWSW " BPIDSUB= " 00 " BPIDVER= " 1A " MSGID= " 0110 "
MAPVER= " 1.1-2A " DATETIME= " 20010307T202530 " >
<!-- 小型コンピュータ業界 EDI 取引標準 0 0 1 A 版商品情報 -->
<JPTRM SEQ="1">
<JP27001>00001</JP27001>
<JP27002>0110</JP27002>
<JP27003>19990602</JP27003>
<JP27187>171539</JP27187>
<JP27004>506022000001</JP27004>
<JP27005>506022000002</JP27005>
<JP27008>1</JP27008>
<JP27082>1</JP27082>
<JP27035>4900000000000</JP27035>
<JP27040>パソコン</JP27040>
<JP27083>パーソナルコンピュータ</JP27083>
<JP27084>パーソナルコンピュータ</JP27084>
<JP27036>JIPDEC-CII-00001-abc-4567</JP27036>
<JP27091>0</JP27091>
<JP27092>1</JP27092>
<JP27103>2</JP27103>
<JPM MN= " 5 " >
  <JPMR MN= " 5 " >
    <JP27104>50250</JP27104>
    <JP27105>40500</JP27105>
    <JP27106>65125</JP27106>
  </JPMR>
  <JPMR MN= " 5 " >
    <JP27104>39765</JP27104>
    <JP27105>82233</JP27105>
    <JP27106>45015</JP27106>
  </JPMR>
</JPM>
```

```
<JP27109>CM</JP27109>
<JP27113>1</JP27113>
<JP27114>1</JP27114>
<JP27134>0</JP27134>
<JP27135>0</JP27135>
<JP27044>298000025</JP27044>
<JP27138>1</JP27138>
<JP27017>このメッセージの内容は架空のものです。</JP27017>
</JPTRM>
</CII-MSG>
```

附属書 2 (参考) XML 電文の例 (その 2)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<CII-MSG BPID="HWSW" BPIDSUB="00" BPIDVER="1A" MSGID="0110" MAPVER="1.1-2B"
DATETIME=" 20010307T202530 " >
<!-- 小型コンピュータ業界 EDI 取引標準 0 0 1 A 版商品情報 -->
<JPTRM SEQ="1">
  <データ処理番号>00001</データ処理番号>
  <情報区分コード>0110</情報区分コード>
  <データ作成日>19990602</データ作成日>
  <データ作成時間>171539</データ作成時間>
  <発注者コード>506022000001</発注者コード>
  <受注者コード>506022000002</受注者コード>
  <訂正区分>1</訂正区分>
  <EDI 受注コード>1</EDI 受注コード>
  <JANコード>4900000000000</JANコード>
  <製品名-全角->パソコン</製品名-全角->
  <正式名称-全角->パーソナルコンピュータ</正式名称-全角->
  <正式名称-半角->パーソナルコンピュータ</正式名称-半角->
  <受注者製品コード>JIPDEC-CII-00001-abc-4567</受注者製品コード>
  <製品言語区分>0</製品言語区分>
  <日本語マニュアル>1</日本語マニュアル>
  <JPM MN=" 3 " >
    <JPMR MN=" 3 " >
```

```

        <対応OS>MS/DOS</対応OS>
    </JPMR>
    <JPMR MN=3">
        <対応OS>Windows95</対応OS>
    </JPMR>

    <JPMR MN="3">

        <対応OS>Windows98</対応OS>
    </JPMR>
    <JPMR MN="3">
        <対応OS>WindowsNT</対応OS>
    </JPMR>
    <JPMR MN="3">
        <対応OS>UNIX</対応OS>
    </JPMR>
</JPM>
<分箱情報>2</分箱情報>
<JPM MN="5">
    <JPMR MN="5">
        <寸法-たて->50.25</寸法-たて->
        <寸法-横->40.5</寸法-横->
        <寸法-高さ->65.125</寸法-高さ->
    </JPMR>
    <JPMR MN="5">
    </JPMR>
    <JPMR MN="5">
        <寸法-たて->39.765</寸法-たて->
        <寸法-横->82.233</寸法-横->
        <寸法-高さ->45.015</寸法-高さ->
    </JPMR>
</JPM>
<長さ単位>CM</長さ単位>
<最低出荷単位区分>1</最低出荷単位区分>
<最低出荷数>1</最低出荷数>
<オープンプライス区分>0</オープンプライス区分>
<通貨単位>0</通貨単位>

```

<単価>298000.025</単価>

<消費税区分>1</消費税区分>

<備考-全角->このメッセージの内容は架空のものです。</備考-全角->

</JPTRM>

</C11-MSG>